

舌辛川の抜本的な治水対策を

舌辛川の富士見橋上手に、真新しい親水型の護岸工事がすすんでいました。しかし、工事中の護岸が、5月20の大雨で完全に土砂に埋もれてしまいました。

そこで、この土砂の撤去とあわせ、大雨のたびに富士見橋周辺に大量の土砂の堆積が繰り返されることから、「抜本的な対策を講じるべきではないか」と建設常任委員会で質問しました。

これに対して、行政センターの担当課長は、「以前から堆積していた土砂も含めて撤去します。また、北海道はすでに富士見橋下流から阿寒川合流点までの河川の流下断面の調査を始めており、結果が出しだい、道に対して大雨でも大丈夫な対応策を求めていきます」と答弁しました。



土砂がすっかり堆積した護岸



土砂の撤去作業は順調にすすんでいます

6月議会では、後期高齢者医療制度など中心に、質問していますが、阿寒の地域課題についても、本会議や委員会で質問しています。
(村上かずしげ)



高校問題を質問

来年、旧市内の4つの高校で入学定員が1学級分ずつ減らされ、次の年は元に戻しますが、その次の年は5学級減。中学卒業者の進路は大混乱です。

阿寒高校の存続も含め、道教委にしっかり意見するように求めました。市は、「全体のバランスを考えてもらいたい。生徒や学校に混乱をもたらさないよう要望したい。」「阿寒高校がなくなれば、遠距離通学となる生徒がたくさん生まれる。釧路市としての重要懸案事項として、北海道に対して存続を訴える」と伊東市長が答弁しました。(6月議会)



また、「阿寒から旧市内へ通学している子どものバス運賃を軽減するため、旧市内と釧路町で使われている『マイパ』(割引率の高い定期券)を阿寒地域まで拡大できないか?」と質問、行政センター長は、「バス会社と協議する」と答弁しました。(2月議会)